

きくのはな通信

2024年5月号

年少

# 『幼稚園生活』



園庭では4月から引き続き砂遊びが人気です。気温が高くなってきたこともあり、自ら裸足になり思いっきり遊ぶ姿があります。土の感触、水の感触を足の裏から感じ、ざらざら、ごつごつ、冷たい・暖かい・柔らかい・固いなど様々な感触を楽しんでいます。土や砂に触れる体験を大切に、もうすぐ始まる水遊びに繋げていきたいと思っています。

とろとろ・べちゃべちゃ  
きもちいいー！

登園したら出席カードにシールを貼ります。  
どのシールにしようかな？

4月から始まった幼稚園生活。  
「初めておうちの人と離れて過ごし始めた子ども」  
「満3歳児クラスから進級してきた子ども」  
「保育園から進級してきた子ども」  
「のびのびクラブから進級してきた子ども」と  
2歳児の経験は様々でしたが、  
2か月経ちみんな年少組の幼稚園生活に慣れてきました。



かわができたよー！

つちのうえはざらざらして  
なんだかしょばい

コップはここにおいて…おさらはここ！  
せんせいできた！



朝の用意や給食の用意などの身支度も自分たちでできるようにしてきました。

少し困っている子も「水筒はどうするんやっただけ」と担任が問かけると、はっと気づき「ここにいれる」と自分で気付ける姿がたくさん見られます。



はだしべちゃべちゃが  
きもちいいー



いたー！  
ここにいろよ

また、気温が上がり、園庭にたくさんの生き物が出てくる季節になりました。年少組のお友だちもダンゴムシの存在に気づき、夢中で探している姿をよく見かけるようになりました。

園庭は体を動かして遊ぶだけの場所ではなく、草花・樹々・生きものなどを通じて、子どもたちの興味や関心を広げる場所として環境整備をしています。

この時期の子ども達の「ふしぎ!発見!」を大切にしたいと思っています。



いっしょにおえかきしよう

お部屋では4月はおもちゃの片付けもままならず、いろいろなところにいろいろなおもちゃが散らばってしまい、「どこいったー？」と遊びたいときに遊べなかったりしましたが、今では担任が設定しているコーナーを理解し、「おままごとコーナーはここ」「粘土コーナーはここ」と活動と場所が結び付き、遊びが混在することも少なくなり、ひとつひとつの遊びに集中できるようになりました。



だんごむし  
みつけた



ここにいろよ



# 『生き物』

今、年中組は「生き物ブームです」  
特に人気なのは「ダンゴムシ」です。  
園庭に出ると、草をかき分けて、みんな必死になってダンゴムシを探しています。  
そして見つけた「ダンゴムシ」を飼いたい!と先生に伝えにきます。  
年少組の時は飼いたい気持ちはあまりなく、捕って満足という感じてましたが、年中組になり「お部屋で飼いたい」という気持ちが出てきました。



だんごむしげんきに  
うごいてるよ

みんなでかんがえたおうち  
すみやすそうだね

## くらすの生き物コーナー



葉っぱや土が入っていて  
湿らせています。

だんごむしについて  
いろいろな情報が!!



「飼うにはどうしたらいいと思う?」という先生からの問いかけに知っているお友達が「枯葉食べるんやで」「しめったところがすきなんやって」と教えてくれます。しめったところ…と聞いて霧吹きで飼育ケースの中を湿らせていましたが、そこはまだまだ年中さん。  
「湿らす」の加減が分からず水浸しになってしまうこともありました。  
その都度、先生と絵本や図鑑を見て、ダンゴムシにとって最適な環境を作ってあげられるように調べて、生き物についてより深く知っていったる途中です。

園庭掲示➡朝の登園時に子ども達の関心が広がるように植物・小さな生き物・自然現象にちなんだものなどを置き、掲示紹介しています。

朝、園庭に入るとすぐに今日は何があるのかなと集まってきて話をしたり、眺めたりしています。



朝の園庭  
このように掲示してます

ダンゴムシのオスとメスの見分け方を園庭に掲示しました。  
メスには黄色の斑点があり、オスには模様はなく黒かグレー色をしています。  
これからの時期メスのダンゴムシの裏側をよく見ると白色の小さな小さな赤ちゃんがたくさん付いていますよ。



えんていみつけたよ



かたつむりもいるよ



他にも園庭では幼稚園で見つけられる虫や植物について掲示しています。  
てんとう虫の幼虫、あわふきむし…紹介するたびに「どこにいるんだろうと」一生けん探す子ども達です。園庭は体を動かして遊ぶだけの場所ではなく、子どもたちの興味や関心を広げる場所として環境整備をしています。この時期のふしぎ発見を大切にしたいと思っています。

# 『特別』



年長組には「特別」使える道具があります。  
それは園庭のスコップです。通称「年長スコップ」

これは園庭の奥に置いてあり、年長になったら使えるという特別なスコップです。  
年中組の時には「つかいたい」など一切口にしていなかったみんなですが、  
年長組になって初めて園庭に出た際には我先にと年長スコップに走って行きました。  
実は憧れていたのですね。

ここほって  
もっとながいかわにしよう

はだしやし  
きをつけてな

めっちゃふかくほれる



他にも年長組には長い虫取り網と飼育ケース、虫かごが3つずつあります。  
3つあるので各クラス1つずつ使っているのかと思っていましたが、担任の先生に話をきくと、そんなことは何も決めていないと教えてくれました。  
使いたい人が使うというシンプルなルールですが、取り合いになることも滅多にないそうです。



だんごむし  
ここにいっぱいいるんやぞ

これかな？

ちょっとちがうくない？



とんぼつかまえた



このむしなんやろ？



去年、年長さんが使っていたところを、一緒に遊びながらずっと見ていた  
彼らは使い方を伝えなくても自然と上手に使えます。  
先生との約束は「よく掘れるけど、先が三角にとんがっているから気をつけて使うこと」  
です。  
当然振り回したりすることもなく、こぎく組やつぼみ組の小さいお友達が近くにいる  
時は、使うのを止めたりと先生たちに言われなくても自分たちで考えて遊んでいます。  
さすが年長さん。  
今までよりもずっと掘りやすいので、遊び方もどんどん広がって行っています。  
「特別」ってうれしいですね。



遊んでいる姿をよく見てみると、虫取り名人に虫取りあみを話し、「こっ  
ちいる!」「あっちいった!」とみんなで情報を共有しながら虫取りを楽しん  
でいます。  
捕まえた虫は園庭に置いてある絵本や図鑑を広げて「これかな?」「こっ  
ちかな?」と話をしている姿をよく見かけます。  
クラスで飼いたいと思った生き物は担任の先生と相談です。  
食べ物は何にか?調達できるものなのか?どんな環境でくらしているのか?な  
ど自分たちでも育てられるか先生と調べて、判断しています。  
自分たちでここまで調べてから「お部屋で飼う」と決めているので、愛着  
もたっぷりです。  
毎日飼育ケースを眺めて、しっかり飼育もしています。ここでもさすが年長  
さんという姿が見られています。

